

2019年度 独創的研究助成費 実績報告書

2020年 3月 31日

報告者	学科名	情報通信工学科	職名	助教	氏名	荒井 剛
研究課題	信号点配置の変動を利用した広帯域マルチキャリア通信方式のPAPR低減法					
研究組織	氏名	所属・職		専門分野	役割分担	
	代表	荒井 剛	情報通信工学科助教	デジタル通信方式	研究計画立案・進行	
	分担者					
研究実績の概要	<p>本研究では、OFDM方式におけるPAPR問題の対処法として、広帯域ミリ波通信の応用として実用化が進められている高周波数帯域における5G通信に着目し、実践的な検討を行うことを目標とした。特に表題に掲げている、信号点配置の変動を利用した広帯域マルチキャリア通信方式に関するPAPR特性の評価を行った。</p> <p>しかしながら、信号点配置の変動について、実際に5G規格の仕様として検討されている方式に合わせた形で適用を行い、PAPR特性を評価した結果、PAPR特性を低減出来る優れた効果があるとは見いだすことは出来ず、研究成果のアウトプットとして適切な成果を得ることは出来なかった。</p>					

※ 次ページに続く

また、研究使途として計上していた内容について、消耗品に分類されるものについては、本学における研究費の範疇で賄えたこと、各種研究会への参加については、予定していた年度末の学会への参加が新型コロナウイルス関連の問題から中止になったことなどから、費用の全てを返却した。

研究実績
の概要